

アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2006/7/10 駐在員：山川 祐司

手作りのチラシで呼びかける中古品の売り出し

バス停のブース内に貼られていたのは、不要になった中古品の販売を知らせるチラシですが、時折こうした張り紙を見かけます。少し変わったところでは公共施設のトイレ内にも掲示板があって、同様のチラシが貼られていたりします。大抵、チラシの下の部分には連絡先の電話番号がいくつも書いてあって、関心を持った人はその一つをちぎって持って帰れるようになっています。

売られているのは、家電製品や家具類が一般的ですが、写真入りで「走行距離わずか800マイル!」のようなキャッチフレーズを付けて本格的に中古車売り出ししているケースもあります。

個人間売買による中古物品の再利用については、インターネットやメディア媒体などを介したものを含めているとありますが、こうした手作りのチラシは「少しでも高く売りたい」という万国共通の思惑や作り手の人柄までもがにじみ出ており、見ているだけでも十分に楽しめます。



「ピアノ80ドル(円に換算すると9000円代)」などは、この情報だけではとても判断が出来ないと思うのですが、電話等でやり取りしながら品定めをしていくことも、こうした個人売買の醍醐味なのかもしれません。